

# 令和元年度 病害虫防除技術情報 第 11 号

令和 2 年 3 月 1 0 日  
大分県農林水産研究指導センター  
農 業 研 究 部

## 麦類赤かび病の防除対策について

本年度は暖冬に推移しており、今後の気象予報も高温多雨傾向であることから平年よりも病害の発生が早く、多発する可能性があります。出穂期も平年よりもかなり早くなる可能性が高いため、防除時期を逃さず適期防除を心がけましょう。

### 麦類の生育状況

- (1) 水田農業グループが令和 2 年 3 月 4 日に発表した令和元年播き麦類作況判定試験結果では、暖冬に推移していることからいずれの品種も平年より極めて生育が早く、旺盛であるとされています。今年度は出穂が 2 週間程度早まる可能性が高いため十分に注意してください。

### 今後の気象情報

- (1) 3 月 5 日に福岡管区気象台が発表した「九州北部地方 1 か月予報」(3 月 7 日から 4 月 6 日まで) は以下のとおりとなっており、高温多雨で推移する可能性が高くなっています。



[http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/109\\_00.html](http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/109_00.html)



### 麦類赤かび病の感染時期と防除適期

- (1) 小麦と裸麦では「開花最盛期から 10 日間程度の間」が最も感染しやすく、二条大麦では「葯が出始める時期」に感染しやすいため、この間に降雨が続き気温が高いと多発しやすくなります。今後の気象状況に注意してください。
- (2) 防除適期は以下の「防除上注意すべき事項」を参照してください。

### 防除上注意すべき事項

- (1) 赤かび病の防除適期の目安は出穂期から予測することが可能です。農林水産研究指導センター水田農業グループによれば、宇佐市における出穂期予想は表 1 のとおりです。

表1 麦類の出穂期（標準は宇佐市 令和元年 11月20日播種。晩播は12月13日播種。）

播種時期	麦種	品種	R2年予想出穂期	平年出穂期
標準	裸麦	トヨノカゼ	－	4月6日
	二条大麦	ニシノホシ	3月26日	4月6日
	小麦	チクゴイズミ	3月23日	4月10日
		ニシノカオリ	－	4月11日
晩播	二条大麦	ニシノホシ	－	4月15日
	小麦	チクゴイズミ	－	4月19日

注) 出穂期は平年よりも早くなると予想されています。

最新の情報は農林水産研究指導センター農業研究部水田農業グループHPを参照。

出穂期予測は「令和元年麦類作況判定試験結果(第4回)」に掲載。

<http://www.pref.oita.jp/soshiki/15084/>



- (2) 小麦の出穂期や開花期等に関しては、農研機構・西日本農業研究センターがアメダスデータを活用した生育予測システムをHP上で公表しています。

**リアルタイムアメダスを用いた麦の発育ステージ予測**

[http://www.naro.affrc.go.jp/org/warc/meteo\\_fukuyama/WEB/wheat/index\\_mugi.html](http://www.naro.affrc.go.jp/org/warc/meteo_fukuyama/WEB/wheat/index_mugi.html)



- (3) 防除適期の期間が短いので、雨が降り続く場合は合間を見て散布してください。
- (4) 見込みどおりの時期に出穂を迎え、気温が平年並の場合、予想される防除時期は表2、3のようになります。ただし、**品種、地域、播種時期、気温の推移などで出穂期が異なるので、圃場に合わせた防除適期を計算し、その期間に防除を行ってください。**

表2 第1回目の防除適期（予測穂期通りに出穂した場合）

播種時期	麦種	品種	防除時期の目安 ※ 気温が平年並の場合
標準	裸麦	トヨノカゼ	－ (出穂期 5～7日後)
	二条大麦	ニシノホシ	4月7日～4月9日 (出穂期12～14日後)
	小麦	チクゴイズミ	3月30日～4月2日 (出穂期 7～10日後)
		ニシノカオリ	－ (出穂期 7～10日後)
晩播	二条大麦	ニシノホシ	－ (出穂期12～14日後)
	小麦	チクゴイズミ	－ (出穂期 7～10日後)

表3 第2回目の防除適期

播種時期	麦種	品種	防除時期の目安
標準	裸麦	トヨノカゼ	－ 第1回目防除7～10日後
	二条大麦	ニシノホシ	4月15日 (第1回目防除が4月8日の場合) 第1回目防除7日後
	小麦	チクゴイズミ	4月7日～4月10日 (第1回目防除が3月31日の場合) 第1回目防除7～10日後
		ニシノカオリ	－ 第1回目防除7～10日後
晩播	二条大麦	ニシノホシ	－ 第1回目防除7日後
	小麦	チクゴイズミ	－ 第1回目防除7～10日後

(5) 2回目の防除適期を過ぎていても、感染しやすい条件に該当する圃場では1回目防除の20日後くらいまでに2回目防除を行えば防除効果が期待できます。ただし、薬剤の収穫前使用日数に注意が必要です。

(6) 主要薬剤の麦種ごとの登録は以下を参照にしてください。薬剤の収穫前使用日数には十分注意してください。

表4 麦赤かび病対象薬剤

【散布】

作物名	農薬の名称	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数
小麦	トップジンMゾル トップジンM水和剤	1,000～1,500倍	60～150L/10a	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)
	シルバキュアフロアブル	2,000倍	60～150L/10a	収穫7日前まで	2回以内
麦類 (小麦を除く)	トップジンM水和剤	1,000～1,500倍	60～150L/10a	<b>収穫30日前まで</b>	3回以内 (出穂期以降は1回以内)
麦類 (大麦を除く)	ワークアップフロアブル	500倍	25L/10a	収穫7日前まで	3回以内
大麦	シルバキュアフロアブル	2,000倍	60～150L/10a	収穫14日前まで	2回以内
	ワークアップフロアブル	500倍	25L/10a	収穫7日前まで	3回以内

【無人航空機による散布】

作物名	農薬の名称	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数
小麦	トップジンMゾル	8倍	0.8L/10a	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)
	シルバキュアフロアブル	16倍	0.8L/10a	収穫7日前まで	2回以内
麦類 (小麦を除く)	トップジンMゾル	8倍	0.8L/10a	<b>収穫21日前まで</b>	3回以内 (出穂期以降は1回以内)
麦類 (大麦を除く)	ワークアップフロアブル	10～16倍	0.8L/10a	収穫7日前まで	3回以内
大麦	シルバキュアフロアブル	16倍	0.8L/10a	収穫14日前まで	2回以内
	ワークアップフロアブル	10～16倍	0.8L/10a	収穫7日前まで	3回以内

大分県農林水産研究指導センター農業研究部 病害虫対策チーム

ホームページアドレス

<http://www.jppn.ne.jp/oita/>

